

2018年7月5日

2018-013

報道関係者各位

日本郵船株式会社
ジャパン マリンユナイテッド株式会社

LNG を燃料とする大型撒積船のコンセプトデザインが完成

日本郵船株式会社(以下 NYK)とジャパン マリンユナイテッド 株式会社(以下 JMU)が共同検討していた液化天然ガス(以下 LNG)を主燃料とする 20 万トン型撒積船のコンセプトデザインが完成しました。更に、そのデザインについて一般財団法人日本海事協会(以下 NK)の検査を受け、基本承認(AiP: Approval in Principle)を取得しました。

LNG を主燃料として使用することにより、二酸化炭素(CO2)等の温室効果ガス(GHG)の排出量は一般的な同じサイズの撒積船に比べ約 30%の削減が可能となります。また酸性雨等の原因となる窒素酸化物(NOx)は約 80%、硫黄酸化物(SOx)はほぼ 100%排出量を削減する効果があり、LNG 燃料は一般的な重油に代わる次世代クリーン燃料として普及が期待されています。

本船の特徴は、以下の通りです。

1. JMU がこれまでに開発した 20 万トン型の撒積船(重油を主燃料とする)の設計がベースであり、その特徴である低 GHG 排出性能と LNG 燃料利用による GHG 排出削減効果を合わせることで、国際海事機関(IMO)で定められている船舶の GHG 排出に関するエネルギー効率設計指標(EEDI)のうち、大型撒積船では厳しいとされる Phase3(Phase0 から 30%削減)を大幅に上回る、約 40%の削減を可能とする。これは本年 4 月に開催された第 72 回海洋環境保護委員会(MEPC72)で採択された、GHG についての IMO ストラテジー*にも大きく寄与するものである。
2. LNG 燃料タンクと LNG 燃料供給システムの装備と配置に十分配慮し、従来の同じサイズの撒積船に比べ、追加装備の重量増加があるにも関わらず、貨物倉容積、積高の増加と燃費低減を達成する船型である。

この度、本船型のコンセプトデザインが NK から AiP を取得したことにより、環境負荷低減型大型撒積船の商談が可能となりました。

NYK と JMU は、今後も環境負荷低減技術を活かし、地球環境に優しい船舶の提供や運航を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。

*2030 年までに国際海運全体の燃費効率を 40%改善する

<日本郵船株式会社>

本社：東京都千代田区

代表者：代表取締役社長 内藤忠顕

ウェブサイト：<https://www.nyk.com/>

<ジャパン マリンユナイテッド株式会社>

本社：神奈川県横浜市

代表者：代表取締役社長 千葉光太郎

ウェブサイト：<http://www.jmuc.co.jp>

<本件に関するお問い合わせ先>

日本郵船株式会社 広報グループ TEL：03-3284-5195

ジャパン マリンユナイテッド株式会社 総務部 広報グループ TEL：045-264-7200

以上